

# ワールドワイド携帯電話四半期動向

2014年2月12日報告

## 2013年4Qの世界の携帯電話市場概況

### 加入者数推移

年度末のためオペレータの12月末の加入数値発表が遅れているため、9月末の加入実績を踏まえて2013年末の累積加入者件数と4Qの新規加入件数を推定した。季節需要期にもかかわらず新規加入件数は前期並みに留まったものとみなした。

2013年1年間の新規加入件数は3.31億件になり、前年の新規加入水準を下回った。LTEは米国、韓国、日本、西欧が牽引し、新規加入件数は1億件の大台を突破した。

### 端末需要

4Qの端末販売台数は季節需要を背景に増加し前年同期比8%増、前期比10.6%増の伸びになった。伸長を牽引したのはSmart Phoneで、同四半期の端末全体に占めるシェアは64%に達した。

4QではApple、中国メーカ、LG、ソニーモバイルが販売台数を伸ばした。特にAppleはiPhone 5Sの本格投入からSamsungを圧倒し、SamsungはSmart Phone販売台数で四半期初の前期比減を記録した。SamsungのほかNokiaのLumiaシリーズ、HTC、Blackberry各社にもネガティブな影響を与え、4QのSmart Phone販売台数は前期割れになった。Appleのほか中国メーカも中国の国慶節需要を背景に軒並み販売台数を伸ばした。4Qでは超ローエンドを投入したHuaweiのほかLenovo、TCL、Xiaomi各社も堅調な伸びを示した。

1月にLenovoがMotorolaの買収を発表した。正式な合意には時間を擁するが、この買収によりLenovoのGoogle陣営入りが見えてきた。Googleにとって買収によりSamsung以外に強力なカードを獲得したことになり、Samsung依存を脱却し競争環境を整える機会を得た。一方この買収はMicrosoftに強力な打撃を与える。現状Windows陣営にはNokia以外に有望なメーカが見当たらず、デベロッパなど外部開発環境もAndroid指向を強める可能性が出てくる。Windowsサークルを広げるためMicrosoftはライセンス政策を含めた抜本的な対策に乗り出す必要がある。

2014年1Qの端末需要は季節性から前期を下回り出荷台数で前期比8%減、販売台数で7.8%減を予想した。端末需要が季節変動の大きい欧米から新興国にシフトしていること、中国の春節需要がグローバル需要を下支えすることが振幅を弱める背景になる。

メーカでは4Qで在庫調整を実施したSamsungや新モデルを投入するLGの下落幅は軽

微なものと予想される。4Qで急伸したAppleはFoxconnに対するiPhone 5Sの発注量が衰えていないこと、新興国向けiPhone 4Sが安定的な販売を見込めること、China Mobileでの発売開始などから1Qでは4,000万台以上の販売を見込んだ。

2月に有力各社は2014年のフラグシップを発表し、端末需要を喚起することから2Qはさらに増勢を強める見通しである。

## 2013年4Q(10-12月)調査結果 目次

1	2013年4Q (2013年10-12月) 結果の要約	3	7	2014年別販売台数推移予測	30
2	1-3月の出荷、販売見通し	4	7.1.	2014年の端末販売台数は前年比5.2%増	30
3	地域別累積加入推移(四半期別)	6	8	主要メーカーの2013年4Q動向	33
3.1.	2012年地域別加入の1Q~3Qの修正	9	8.1.	Samsung	33
3.2.	中国、インド、ブラジル、ロシア加入推移	11	8.2.	Nokia	36
3.3.	参考 97カ国 国別加入推移	13	8.3.	Apple	39
4	方式別加入推移(四半期別)	17	8.4.	LG	41
4.1.	2012年方式別加入の1Q~3Qの修正	20	8.5.	ソニーモバイル	43
5	年加入推移と2014年予測	22	8.6.	Motorola Mobility	45
5.1.	地域別	22	8.7.	Blackberry	47
5.2.	方式別	23	8.8.	HTC	49
6	端末販売動向推移	24	9	端末各社の出荷計画	50
6.1.	2013年4Q端末販売動向	24	10	製品在庫状況ほか	51
6.2.	2013年4QのSmart Phone販売動向	27			